

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部 事務局の取組について



平成30年12月

- 2020年大会を契機に、日本文化の魅力発信とレガシー創出へ



『 beyond2020プログラム 』 (2017年1月～)

- ・ 日本文化の魅力を発信する事業・活動であって、多様性（バリアフリー等）又は国際性（多言語化等）に配慮した取組を認証
- ・ スポンサー企業を含め幅広い団体が申請可能

【ロゴマークのデザイン】

- ・ 「いいね」や「グッド」などの賛同のジェスチャーをモチーフ。
- ・ beyondの「b」や日本を象徴する「わ」とも読み取れる。
- ・ 日本の文化を共に継承し広げていきたい、との願いを込めて、2020年を新たなる発展へのステップとしてシンボライズ。

認証件数 8,593件
認証組織 64組織
2018/12/14 時点

認証組織の拡大

【認証組織】（平成30年12月14日時点 64組織）

【国等（8）】

内閣官房オリパラ事務局、文化庁、外務省、（独）国際交流基金、
内閣府知的財産戦略推進事務局、厚生労働省、経済産業省、観光庁

【都道府県（42）】

北海道、青森県、岩手県、宮城県、福島県、秋田県、山形県、茨城県、栃木県、
群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、
長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、和歌山県、鳥取県、
島根県、岡山県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、
熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※兵庫県が平成31年1月1日から認証組織となる予定。

【政令指定都市（13）】

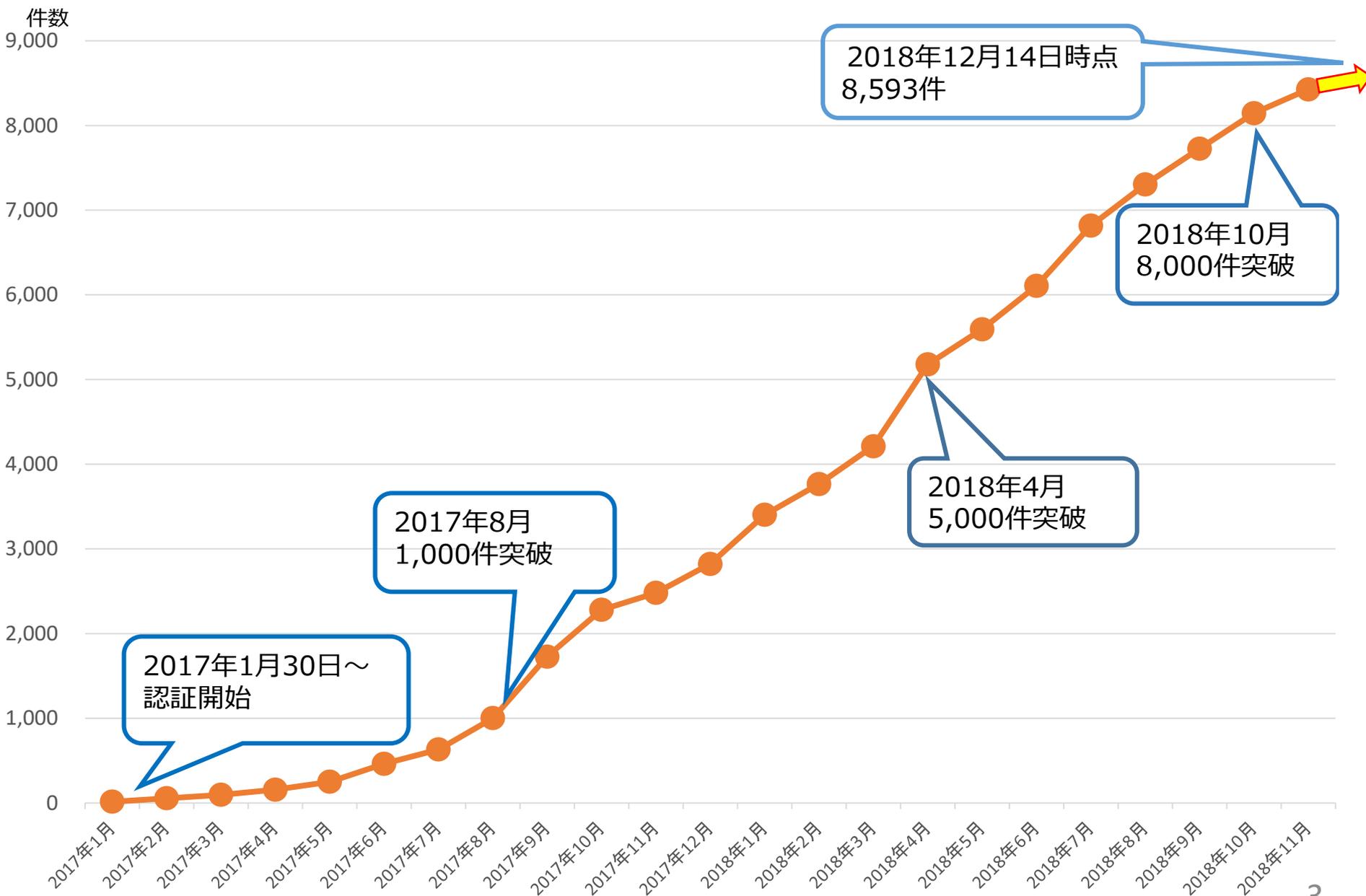
札幌市、仙台市、横浜市、川崎市、新潟市、静岡市、浜松市、大阪市、堺市、広島市、
北九州市、福岡市、熊本市

※神戸市が平成31年1月1日から認証組織となる予定。

【その他（1）】

京都文化カプロジェクト実行委員会（京都府、京都市、京都商工会議所）

認証件数の推移

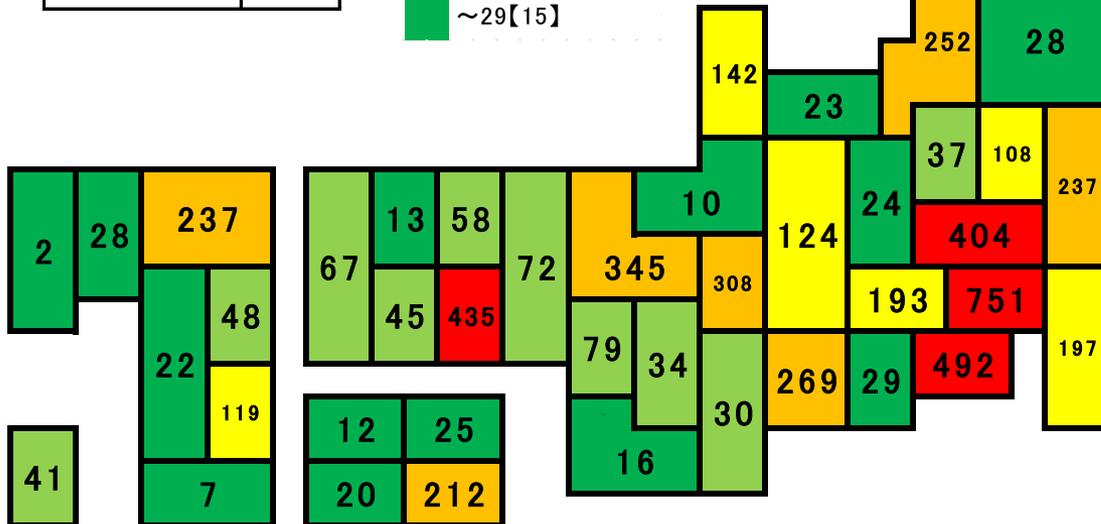
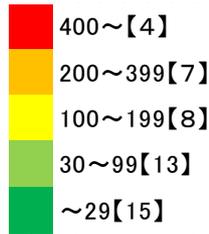


認証状況

●開催地別件数

認証件数
8,593
平成30年12月14日

全国	29
海外	2454
WEB	31



●団体別認証件数

団体区分別	認証件数
国の機関	2,607
地方公共団体	1,602
公益法人等	1,532
株式会社等	298
その他 (実行委員会等)	2,554

●分野別認証件数

分野別認証件数	認証件数
伝統芸能・まつり	881
現代アート・メディア芸術	239
食文化	246
障害者芸術	110
音楽	1,543
演劇	333
美術	620
工芸	132
映画・写真	543
その他	3,946

認証組織が作成した独自ロゴマーク

岩手県



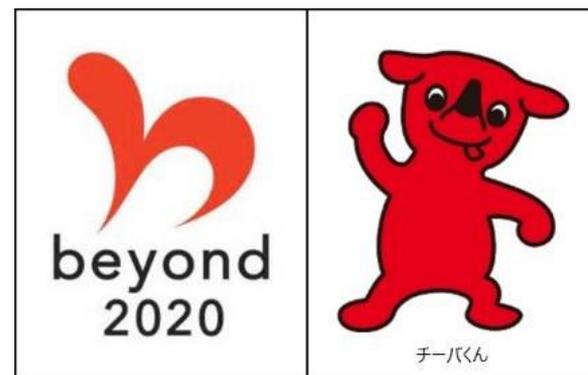
そばっち

栃木県



とちまるくん

千葉県



チーバくん

滋賀県

滋賀文化プログラム



キャッフィー

京都文化カプロジェクト
実行委員会



高知県



くろしおくん

熊本県



熊本文化の底力

くまモン

認証事例 (1) 幅広い文化が対象



「大相撲 beyond2020場所」



「流鏝馬」海外発信



六本木アートナイト



ヨコハマトリエンナーレ



夕暮れ能
@伏見稲荷大社



ニコニコ超会議



東京ガールズコレクション



東京ハーヴェスト

認証事例 (2) 全国各地・海外での取組



東北絆まつり



長岡まつり大花火大会



いしかわ・金沢
風と緑の楽都音楽祭



犬山からくり町巡り



全国高校生伝統文化フェスティバル



ドリーム夜さ来い祭り
in ニューヨーク



外務省 在外公館文化事業
映画、武道、陶芸・郷土玩具・生け花
ポップカルチャー、食文化等PR



認証事例 (3) 商品・サービスにも活用。企業の取組を応援。



地元とつながる
「地元とつくる、地元ポッキー」



伊藤園お〜いお茶
新俳句大賞



東京国立博物館×三越伊勢丹
コラボレーションギフト
(中元・歳暮・通年)



JTBグループのユニバーサルツーリズム



Let's Tokyo
学園祭グランプリ



東商オリパラ・アクションプログラム
「地域の魅力・文化を世界に発信」

オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査

大会の機運醸成に向けて、多言語対応・バリアフリー対応等に取り組む文化イベントについて試行プロジェクトを実施し、その効果と課題を分析。

⇒ 文化におけるレガシーの創出、全国における東京大会の機運醸成

◆平成30年度実施概要

- 従来の1件当たり上限1,000万円のプロジェクトに加え、上限3,000万円のプロジェクトを新たに実施（プロジェクト実施主体への委託調査）
- 採択件数：10件（上限3,000万円：4件、上限1,000万円：6件）
- 採択案件は、beyond2020プログラムとして認証。

【上限3,000万円案件の特徴】

- ・象徴的空間の活用：文化の情報発信拠点となりうる象徴的な空間で実施する事業
- ・ナイトタイムの活用：通常昼しか開いていない施設で、ナイトタイムの活用を図る事業
- ・日本の食文化の発信：優れた日本の食文化の普及・発信を行う事業

（参考）これまでの採択実績

平成28年度 32件、平成29年度 21件

平成30年度採択案件一覧

★・・・文化情報発信拠点型プロジェクト

	実施主体	試行プロジェクト名	エリア	時期	概要
① ★	岡崎明治酒場実行委員会	岡崎明治酒場	京都岡崎エリア（平安神宮、岡崎公園、京都市動物園、京都伝統産業ふれあい館、京都モダンテラス、京都市美術館など）	2018年 10月26日(金)	京都で文化施設が集積する岡崎エリアで、「明治時代」をテーマに夜のお祭を開催。ゲストはお酒片手に各所を巡り、京都人と飲み語る、一夜限りの文化テーマパーク。
② ★	株式会社 KADOKAWA	Edo⇄2018 すみだ川再発見！「ふねと水辺のアートプロジェクト」	東京都墨田区・隅田川流域	2018年 9月～12月	かつて文化や経済、生活の中心であった隅田川の「水面」や「川岸」を舞台に、アート作品の展示等を実施（「ファスナーの船」の運航、水面を占有したアート作品の展示等）。
③ ★	新宿御苑 OPEN PARK プロジェクト実行委員会	新宿御苑 OPEN PARK プロジェクト	東京都・新宿御苑	2018年 10月12日(金)	夜間の新宿御苑に光と音のインスタレーションを設置し、参加者が思い思いに回遊できる3000人規模のアートイベント。
④ ★	東京ハーヴェスト実行委員会	東京ハーヴェスト	東京都・虎ノ門ヒルズ、新虎通り（歩道）一部	2018年 10月11日(木)～13日(土)	優れた日本の食文化の普及・発信等のため新虎通りで屋台横丁などを実施。和食文化を多言語で発信するとともに、GAP認証等の消費者認知度を高める。
⑤	株式会社 JTBCコミュニケーションデザイン	東京2020機運醸成とユニバーサルイベント実現に向けた調査・発信事業—万華響DRUM TAOを切り口に—	東京都新宿区	2018年 10月19日(金)、 11月16日(金)	和太鼓集団である「Drum Tao」の公演を貸し切り、外国人や障害者も楽しめる公演のあり方を調査。
⑥	株式会社電通東日本	三条市・さいたま市の広域連携による「庭園・盆栽」の国際ブランド化プロジェクト	新潟県三条市 埼玉県さいたま市	2018年 10月4（木）～22日（月）	三条市の「庭園」が、さいたま市の「盆栽」と連携して国内外に情報発信し、「BONSAI」に続き「TEIEN」を世界の共通語・ブランドにすることを目指す。
⑦	一般社団法人 日本花火推進協力会	東京オリンピック・パラリンピックHANABI 2020の実現に向けた試行プロジェクト～視聴覚障害者が体感できる花火の模索～	秋田県大仙市 （大曲花火大会）	2018年 10月13日(土)	大曲の花火大会（秋開催）において、視聴覚障害者が花火を体感する方策を検証。
⑧	NPO法人阿寒観光協会 まちづくり推進機構	先住民族アイヌ文化交流イベント『カムイモシリ・アイヌモシリ』	北海道釧路市	2018年 11月24日(土)、 25日(日)	各地のアイヌ民族が伝承する文化（舞踊、音楽、工芸、自然と共生する生活思想など）を、ひとつのイベント空間に表現。
⑨	株式会社 ブランド総合研究所	食のバリアフリープロジェクト （各地でのインバウンド向け食事のハラル、ベジタリアン対策支援プロジェクト）	全国6か所 （北海道、山形県、栃木県宇都宮市、長野県大町市、福井県福井市、沖縄県糸満市）	2018年9月～ 2019年1月	宗教上の食の規律（ハラル、ベジタリアン、コーシャ、ヴィーガンなど）が「食のバリア」とならないよう、全国6か所で研修・アドバイスを行うとともに、外国人の反応・評価を調査。
⑩	スロームーブメント 実行委員会	SLOW ACADEMY 2020年オリパラ大会・文化プログラムにおける障害者参加を支える人材育成プログラム	東京都内、横浜市	2018年10月 ～12月	障害者ケアに芸術文化要素を取り入れたい福祉施設職員等をターゲットにした研修プログラムを研究。シルク・ドゥ・ソレイユの協力を得て、日本独自のプログラムを開発。

大曲の花火

概要：秋の大曲の花火大会で、視聴覚障害者が花火を体感する方策を検証。

主催：一般社団法人日本花火推進協力会

日時：2018年10月13日（秋田県大仙市）



花火玉や筒の模型を展示し、大きさや重さを体感。



花火の情景を表現した点図を配布し、
花火の広がりや高さを体感。



花火朗読劇の実施



スマホアプリ「UDトーク」による字幕解説
音を振動に変えるネックレス型デバイス「Hapbeat」の使用

「公共空間を活用したイベント促進相談窓口」について

◆背景・趣旨

イベント主催者等から、2020年に向けて、様々な文化イベントの実施場所として公共空間を活用したいとの声が聞かれるが、公共空間の活用にあたっては、様々な制度と整合性を図る必要がある、円滑な実施が難しいケースがある。



オリパラ事務局内に、イベント主催者等から相談を受け付け、自治体等の関係部局との調整等を行う「公共空間を活用した文化イベント促進相談窓口」を設置（2017年10月）

◆対応

beyond2020プログラムの認定を目指し、民間主導で公共空間を活用した文化イベントを企画・実施する者から、公共空間を活用した文化イベントの実施に必要な所要の手続き等に関する相談を受付

- ※ 関係する省庁・自治体等と調整・連携し、案件の内容に応じた支援の実施
- ※ オリパラ事務局と文化経済戦略特別チームが共同して対応
- ※ 同様の取組を促す観点から、支援内容の概要を公表

相談者：吉本興業株式会社（アルカナイト株式会社）

◆窓口への相談内容

- ・大阪城公園を活用した事業における使用許可の取得等に関して

◆窓口の対応

- ・事業計画を伺った上で、オリパラ大会に向けた文化の機運醸成につながるとともに、特別史跡エリアを含む大阪城公園というユニークベニューの活用やナイトタイムエコノミーの振興により、インバウンド観光の推進にも寄与するといった点で有意義な事業と捉え、事業実現に向けた支援を実施。
- ・事業実施に係る許可取得等に関して、文化庁、大阪市 各担当部局と協議を実施。

◆事業概要

イベント名：「SAKUYA LUMINA（サクヤルミナ）」

主催：サクヤルミナ製作委員会

アルカナイト株式会社（吉本興業株式会社、電通グループ 共同出資）、
大阪城パークマネジメント株式会社

実施場所：大阪城公園内 特設会場

営業期間：2018年12月15日中旬から3年間の常設を予定

営業時間：18時～22時 ※営業時間は季節により変動。

公式HP：<http://www.sakuyalumina.jp/>

